



JICHI MEDICAL UNIVERSITY
SAITAMA MEDICAL CENTER
自治医科大学

さいたま医療センターだより

TEL.048-647-2111 FAX.048-648-5180 URL : <http://www.jichi.ac.jp/center>



(埼玉県幸手市)

センターだより 第51号 ご案内

- コレステロール血症とプレジジョン医療の話 (内分泌代謝科 教授 原 一雄)
- 薬よもやま話・・・第9回 ジェネリック医薬品(後発医薬品)とバイオシミラーについて
- お知らせ・・・感染制御室からのお知らせ
受診する患者さんへのお願い
外来跡地改修工事の竣工に伴う移転及び使用開始のお知らせ
外来の概略平面図/脳ドック室からのお知らせ

さいたま医療センター 理念・基本方針

理 念

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 地域に根ざした医療
4. 心豊かな医療人の育成

基本方針

1. 患者の皆様を尊重し、開かれた安心できる医療を提供します
2. チーム医療を推進し、安全で質の高い医療を提供します
3. 地域との連携を深め、基幹病院としての役割を果たします
4. 地域医療に貢献する医療人を育成します



コレステロール血症とプレジジョン医療の話

内分泌代謝科 教授 原 一雄

健康診断でコレステロールが高いと言われた方はいらっしゃると思います。では最近注目されてきたプレジジョン医療をご存知でしょうか。今日は、心筋梗塞を予防するコレステロールのプレジジョン医療についてお話したいと思います。

血液中のコレステロール（LDLコレステロールのこと）が高いと、血管が狭くなって血液が流れにくくなります。これを動脈硬化と言います。動脈硬化が心臓の血管で進むと心筋梗塞が起きやすくなります。パイロットの健診ではコレステロールの数値は特に注意されているらしいです。操縦中に心筋梗塞を起こすと大惨事になります。

それではコレステロールが高いと言われた方はどの位の数値まで下げると良いのでしょうか？それは人によって違うのです。例えば、コレステロールが高くて心筋梗塞を起こした人は心筋梗塞をもう一度起こしやすいので、一層コレステロールを低くする様にした方が良いのです。コレステロールの他にも糖尿病、高血圧やタバコは動脈硬化を起こします。そこで、糖尿病の人は糖尿病でない人よりも更にコレステロールを低くすることが勧められます。自動車保険は、交通事故を起こす危険性に応じて保険料が変わることは良く知られています。コレステロールの数値目標も、心筋梗塞などの危険性に応じて変えた方が良いのではないかという考え方が主流になってきました。

さて、どうしてコレステロールが高くなるのでしょうか？卵を食べ過ぎているからでしょうか？実は体の中のコレステロールは食事からだけではなく、肝臓で作られている量の方が多いのです。コレステロールが高い人の中には、肝臓でコレステロールを作りすぎている人がいることが分かってきました。コレステロールを沢山作ったり吸収したりする体質は生まれた時からなので若い時からコレステロールが高くなっています。そのため動脈硬化が若い時から進行するため、年齢を重ねてからコレステロールが高くなってきた人よりも心筋梗塞のリスクが高いのです。そこで、プレジジョン医療の話に移ります。

プレジジョン医療は2015年にアメリカで提唱されました。癌や糖尿病などの病気の原因や状態は人それぞれに違うので、その人に合う治療法や予防法も人それぞれです。だから人それぞれに合う様な治療法を選べる様にしましょう、その様な治療がない場合には新しい治療法を開発していきましょう、というのがプレジジョン医療の考えです。実は、この様な考え方は2015年に初めて登場したわけではなく、血液型に合わせて型のあった血液を輸血することは100年前からやられています。最近、医療情報や個人のDNAの情報が大量に得られ人工知能を使って研究ができるようになったため色々な病気でプレジジョン医療が出来る様になるのではとの期待が高まっていました。しかし、米国では大統領が変わってこれまでの政策を全て変えようとしており、提唱された時の様にプレジジョン医療を進めていけるかどうか分からなくなっています。でも、コレステロールに関してはプレジジョン医療でやろうとしていることと方向性が同じ事は一部で可

能になっています。先ほどコレステロールが高い体質についてお話ししました。コレステロールが高い人の中には、若い頃から体質的にコレステロールが高い状態が続いているので心筋梗塞の危険性が高く、家族性高コレステロール血症と呼ばれ、500人に1人の割合でいると推測されています。家族性高コレステロール血症の人は同じ血がつながった家族の中にもコレステロールが高く若くして心筋梗塞を起こした人がいることが多いのです。家族性高コレステロール血症の場合にはコレステロールを一層低い数字まで下げる必要がありますが、コレステロールを下げる治療法も進歩してきました。家族にコレステロールが高いと言われた方や心筋梗塞の方がいらっしゃる方はもちろん、健診でコレステロールが高いと言われたが、どの位までコレステロールを下げた方が良いのかが分からない方も、まずはかかりつけの先生に御相談下さい。その上でかかりつけの先生から必要があれば当科をご紹介頂ければ幸いです。

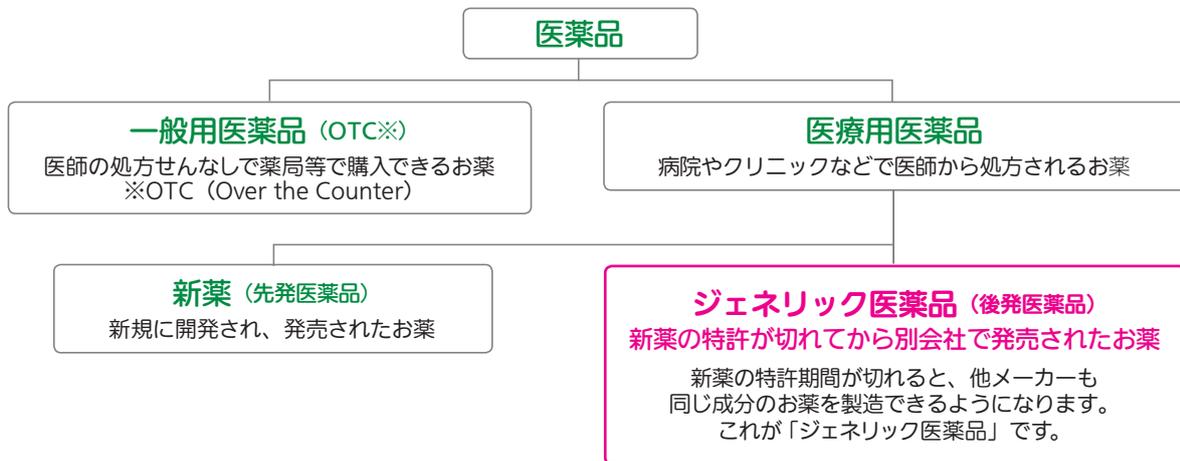


ジェネリック医薬品（後発医薬品）とバイオシミラーについて

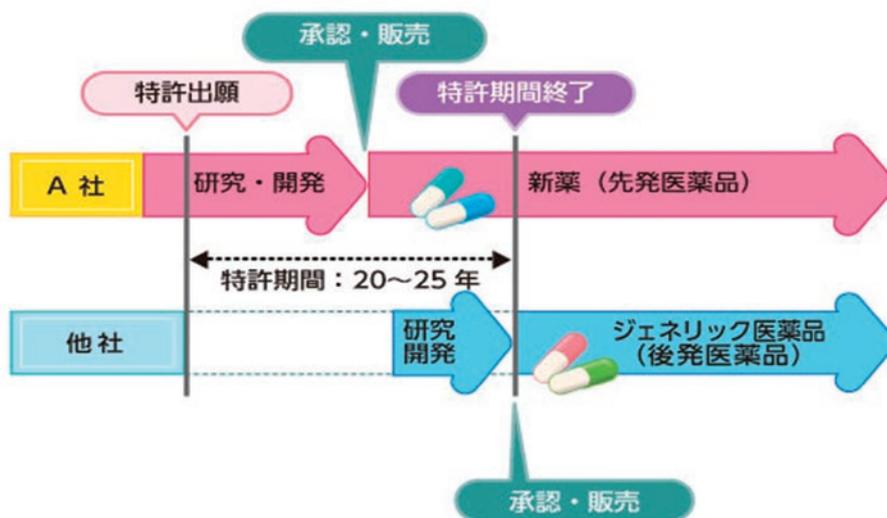
薬剤部 大塚 潔

今回は、ジェネリック医薬品とバイオシミラーについて話してみたいと思います。ジェネリック医薬品は聞いたことあるけれどバイオシミラー…？という方が多いと思います。では初めにジェネリック医薬品からです。医薬品は次のように分類されます。

<医薬品の種類>



先発医薬品を開発した医薬品メーカーには、その新薬を独占的に販売できる特許期間（20～25年）があり、その期間が終了すると、新薬に使われた有効成分や製法などは国民共有の財産になります。そして、厚生労働大臣の承認を得られれば、他の医薬品メーカーでも「ジェネリック医薬品」として製造・販売が可能になります。



<ジェネリック医薬品の特徴>

○先発医薬品と「同じ有効成分」が「同じ量」含まれているため、基本的に効能・効果は変わりません。

同じところ	工夫できるところ
<p>有効成分…成分 含量^{注)}</p> <p>治療効果…有効性・安全性 効能・効果[※] 用法用量[※] 使用上の注意[※]</p> <p><small>注) 新薬の使用状況を見て、より使いやすい含量の製剤を作ることができます。</small></p> <p><small>※ 一部、異なる場合があります。</small></p>	<p>製剤…添加物 (種類および量) 性状 (色や味、臭い、形、大きさ など) 剤形</p> <p>例) 内服薬.....錠剤やカプセルなどのお薬の種類 飲みやすさ、味</p> <p>外用薬 (貼り薬など) ...貼り心地、 剥離紙の表示など (薬価は、製剤ごとに異なります。)</p>

ただし、すべての医薬品にジェネリック医薬品があるわけではありません。ジェネリック医薬品は先発医薬品と有効成分や効果などは変わりませんが、使用されている添加物が異なることもありますので、アレルギーなどがある場合は選択できない場合もあります。

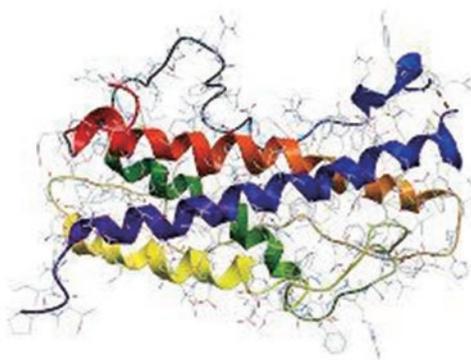
次にバイオシミラーの説明です。まず、バイオ医薬品とは何かをお話しします。

バイオ医薬品とは、バイオテクノロジーによって作られたタンパク質のことです。遺伝子を組み換えたり、細胞を増殖させる等、その技術は幅広く、様々な病気の治療薬に活用されています。化学合成で作られる従来の「低分子医薬品」と比較して、大変複雑な構造をしており、製法の確立には高い技術が必要であると言われてしています。

バイオシミラーとは、既に国内で新薬として承認され、特許期間が満了した先行バイオ医薬品の後続品です。

先発医薬品の後続品が、ジェネリック医薬品。バイオ医薬品の後続品が、バイオシミラーと考えていただくと分かりやすいかと思います。

バイオシミラーは、先発医薬品に準ずる試験を行っているため、有効性や安全性については特に大きな問題はないと言えます。しかし、有効成分が同一であるジェネリック医薬品でも、添加物や製剤技術の違いによって完全に同じ薬であるとは言えない等の問題があるのは事実です。メリット、デメリットを理解した上で、自分にとって有益な選択をしていただけたらと思います。その際、わからないことがあればかかりつけの医師や薬剤師に、相談してください。



お知らせ

感染制御室からのお知らせ

『風疹ゼロプロジェクト』をご存知ですか？東京オリンピックが行われる2020年までに国内から風疹を排除し、風疹の流行に伴う先天性風疹症候群の発症を防ごうというプロジェクトです。このプロジェクトを推進している日本産科婦人科学会、日本周産期新生児医学会、国立感染症研究所からは次のようなメッセージが出されています。このメッセージから、流行がない「今」、なぜ風疹ゼロプロジェクトを行うのか考えてみましょう。

2月4日は“風疹の日”ー『“風疹ゼロ”プロジェクト』を進めましょう

1. 風疹にご注意！わが国では風疹流行のリスクはいまだに消えていません！
2. 妊娠20週頃まで（主に妊娠初期）に風疹ウイルスに感染すると胎児が先天性風疹症候群になるおそれが生じます。
3. 30～50代の男性は風疹に対する免疫のない方が多く、風疹流行の要因となっています。
4. 海外流行地への渡航は風疹ウイルスに感染するリスクを上げます。渡航の際は万全の風疹予防対策、また帰国後は風疹発症リスクに対する適切な対応策をとってください。

以前、風疹はちょうど今頃の春から初夏にかけて子供を中心に流行がみられていました。しかし、定期予防接種が進み国内では風疹はあまり見られなくなりました。それなのになぜ流行のリスクがあるのでしょうか。その理由は、3と4に書かれています。3は定期接種の機会がなかった、あるいは移行措置で施策がなされたにもかかわらず接種率が低かったため30～50代の男性に免疫がない人が多くいるため風疹流行の要因となっているという指摘です。そして、4は、海外では風疹の流行がみられる国があるとの指摘です。これを証明する風疹の流行が2011年～2014年にありました。海外で感染し帰国した方を発端に、その方の周囲で集団感染が発生し、その後全国的な流行へ拡大しました。この流行は2013年にピークとなりこの年の報告数は14,344人と流行がない年の約100倍の報告数でした。その結果、先天性風疹症候群の報告も32人にのぼ



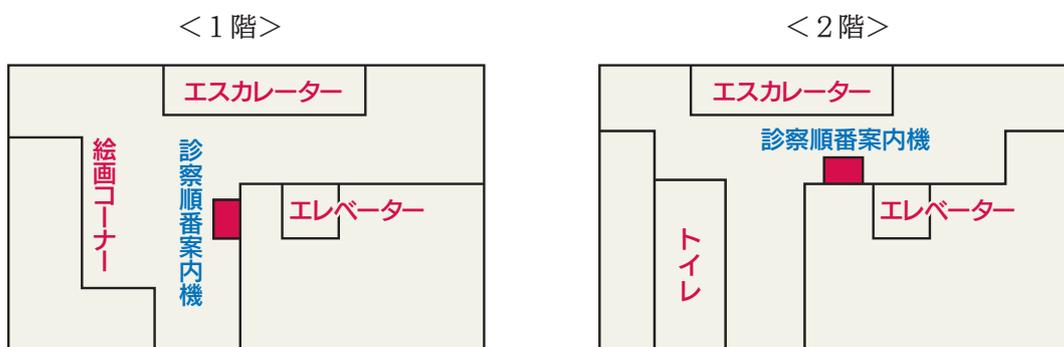
りました。先天性風疹症候群とは風疹ウイルスの胎内感染によって先天性心疾患、難聴、白内障などの先天異常を起こすもので、それ自体の治療法はありません。

妊婦さんはワクチンを接種できません。また、予防接種歴があるにも関わらず十分な免疫を得ることができずに感染した妊婦さんもいます。その為、先天性風疹症候群の予防には妊娠する可能性のある女性の周囲の方が免疫をもつことが重要です。流行してからの予防接種では免疫がつくまでに時間がかかるため間に合わない可能性があります。また、流行が始まると報道などをみて急に予防接種を希望する方が増え、ワクチンがなくなってしまうこともよくあります。その為、流行がない今から2020年の多くの外国人が訪れる東京オリンピックまでに免疫のない方は予防接種しましょうということです。これを機会に風疹に罹ったことがなく、予防接種をしたこともない方は風疹抗体検査や予防接種をお考えください。費用の助成を行っている自治体もありますので、お住まいの自治体に詳細をご確認ください。尚、当センターでは予防接種は行っていません。

受診する患者さんへのお願い

*診察予定時刻の**10分前までに到着確認機**に受診票のバーコードを通して**外待合**でお待ちください。

*おおよその診察の順番は、外来1階及び2階にある**診察順番案内機**で確認できます。



<到着確認機とは>

- 患者さんが**到着確認機を通すこと**で、担当医師は患者さんが診察室付近にいることを確認します。早く通すことで診察時刻が早まるものではありません。
- **到着確認機を通さないと、呼ばれません**のでご注意ください。

外来跡地改修工事の竣工に伴う移転及び使用開始のお知らせ

昨年11月下旬から実施しておりました、旧外来診察室等の跡地改修工事、並びに、正面ホール天井改修工事が、3月末をもって竣工を迎えました。工事期間中は騒音、工事足場等で大変ご迷惑をおかけいたしました。

機器等を整備した後にゴールデンウィークを利用して移転し、使用開始は5月8日(月)を予定しております。(※なお、レストランは5月下旬を予定しています。)

また、今回の外来跡地改修により、以下の部門等が移転します。(次頁 概略平面図の黄色部分を参照ください。)なお、4月中は従来場所になりますので、ご注意ください。

	部門等	移転前	移転後	備考
①	外来処置室	外来3階	外来1階(東側診察室跡地)	
②	オンコロジーセンター 緩和ケア・ペインクリニック	—	外来3階	新設
③	採血・採尿検査	外来1階	同左(拡張)	
④	内視鏡検査	外来1階	同左(西側診察室跡地)	
⑤	栄養指導室	外来1階	同左(東側診察室跡地)	
⑥	生理機能検査	外来1階	外来2階	
⑦	看護外来	外来1階	同左(東側診察室跡地)	
⑧	脳ドック室	外来1階	同左(東側診察室跡地)	
⑨	レストラン	外来1階	同左(東側診察室跡地)	5月下旬

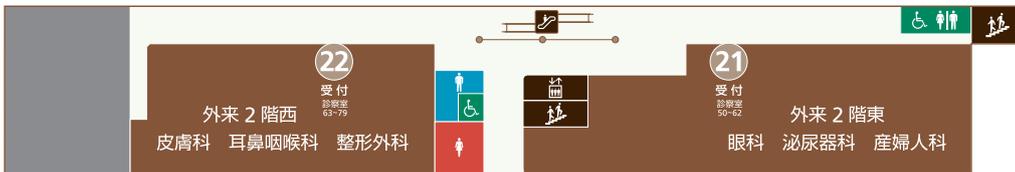
外来の概略平面図

※5月8日(月)からは下の配置図のように変わります。(変更部分は黄色)

[外来3階]



[外来2階]



[外来1階]



南館
透析部・リハビリ
日帰り手術センター

脳ドック室からのお知らせ

● 脳ドックのご案内 ●

頭部MR検査などにより、脳血管障害（くも膜下出血・脳梗塞・脳出血）や脳腫瘍などの脳疾患の発症や進行を早期に予防しようとする検診システムです。

脳血管障害は、何の前触れもなく突然倒れ、重大な後遺症に悩む場合も少なくありません。脳疾患の早期発見と予防のために、是非、**脳**の健康診断「**脳ドック**」をご活用ください。

■ 当センターの脳ドックについて ■

当センターの脳ドックは、日本脳ドック学会認定施設（NO.10098）です。

最新の『脳ドックガイドライン』に準拠し、脳ドック学会が推奨する精度の高い検診を実施しております。

■ 当センター脳ドックの特徴 ■

頭部MR検査、頸部超音波検査、認知機能検査による脳の総合検査に加えて、心電図や血液・尿検査などの内科的な脳卒中危険因子のチェックも受けていただける予防に効果的な検査項目となっています。

また、受診者全員に医師からの結果説明を行っており、受診されるお一人お一人に合った適切な脳の健康対策（予防・早期治療）を受けていただくことが可能になります。

■ 費用と検査項目 ■

基本検査	1.5テスラ標準MRコース	80,000円（消費税含む）
	3テスラ高性能MRコース	100,000円（消費税含む）
検査項目	頭部MRI・MRA検査、頸部超音波検査、認知機能検査、 頸椎・胸部レントゲン検査、心電図検査、血液・尿検査、 問診、身体測定（身長・体重・肥満度）、血圧測定、 神経学的検査、医師結果説明	
検診日	毎週2回 火・木曜日	

■ お申込み・お問合せ ■

検診はすべて予約制です。

*受診のお申し込みの方は、下記担当までお電話いただくか、本館1階窓口へお越しください。

TEL 048-648-5155 直通（脳ドック担当）
受付時間／平日 8時30分～17時

*詳しい検査内容、ご不明な点等についてのご質問もお気軽にお問合せください。

表紙写真

埼玉県 幸手市 にて

埼玉県内の桜の名所の一つとして知られる幸手市権現堂堤。

中川の堤防上に約1キロメートルに渡り、約1000本の桜並木が続きます。同時期に堤下に広がるアブラナと共に、ピンクと黄色の美しいコントラストが広がります。

桜だけでなく、夏には紫陽花、秋には曼珠沙華、冬には水仙が楽しめます。

撮影：一般・消化器外科 福井 太郎さん